

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 27 日(2022.12.27)

【公開番号】特開 2022-47800(P2022-47800A)
【公開日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-053
【出願番号】特願 2020-153779(P2020-153779)
【国際特許分類】

H 0 5 K 1/02(2006.01)

10

【F I】

H 0 5 K 1/02 J

H 0 5 K 1/02 N

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 19 日(2022.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0056】

< バスバー 11, 12 の形状 >

図 11 は実施形態 2 における回路装置 1 の側面図である。実施形態 2 における回路装置 1 の平面図は図 1 と同様である。バスバー 11, 12 それぞれは、曲がっており、2 つの接続部分 P1 と、2 つの接続部分を連結する連結部分 P2 とを有する。接続部分 P1 及び連結部分 P2 それぞれは棒状をなす。各接続部分 P1 の一方の端部は、回路基板 B が有する第 2 導電パターン 14b の幅広面に接触している。これにより、各接続部分 P1 は第 2 導電パターン 14b に接続している。連結部分 P2 は、2 つの接続部分 P1 の他方の端部を連結している。連結部分 P2 は、回路基板 B、即ち、絶縁層 Z1 の上面から離れている。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

バスバー 12 の断面積は大きい。このため、バスバー 12 の抵抗値は小さく、バスバー 12 を介して大きい電流を流すことができる。第 2 導電パターン 14b が存在する部分では、バスバー 12 の接続部分 P1 が重なっている。また、バスバー 12 の抵抗値は小さいので、連結部分 P2 を介して大きい電流を流すことができる。結果、導線 W2 を介して大きい電流を流すことができる。

40